

NO.	種名称 (学名)	カテゴリー	解説	生活	声	見分け方	時期(月)												参考文献		
6	アカゲラ Dendrocopos major	キツツキ目 キツツキ科	背中が黒く、白い逆ハの字形の模様のあるキツツキ類。ユーラシア大陸の温帯から亜寒帯に広く棲息し、日本でも本州以北の平地から山地に留鳥として棲息する。本州中部以北では低山の林に普通に見られるが、本州西南部では少なく、四国、九州には棲息しない。北海道では市街地から山地までごく普通に見られる。	ドラミングはアリスイ以外のキツツキ類全種に見られる行動で、枯れて音が響きやすい幹を連続して叩く。アカゲラでは1秒間に18～22回位だという。オス、メスともに行い、その場所もほぼ決まっているようで、縄張り主張の意味を持つものらしい。枯れ木や生木の幹にくちばしで穴をほって巣穴とする。秋冬には、幹の中で越冬中の昆虫類のほかに木の実も少し食べる。	一年中鳴き声が聞かれ、「ケッケッ」と1声ずつ区切って鳴くほか、飛翔中に「ケッケケケケ」と鳴くこともある。警戒する時には「ケッケッケッ」とせわしく鳴き続ける。雛は「キョキョキョ」とやかましく鳴き続ける。ドラミングは割合に乾いた音を立てることが多い。	似た種にオオアカゲラとコアカゲラがいるが、オオアカゲラは一回り大きく、脇腹に黒い縦斑があること、コアカゲラはずっと小さく、下尾筒に赤味がないことで区別できる。			1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	山溪カラー名鑑『日本の野鳥』：山と溪谷社